

かたらい

第90号

平成29年7月1日

発行 社会福祉人 とちぎ健康福祉協会

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1

TEL (028) 622-2846

FAX (028) 621-1422

【URL】 <http://www.kenkoufukushi.com>

【E-mail】 kenkoufukushi@arion.ocn.ne.jp



とちぎ健康の森フェス2017

真の法人改革に向けて



理事長
平野 博章

昨年の社会福祉法等の改正を受けて、この四月から社会福祉法人制度改革が本格実施されました。

社会福祉事業団と高齢者総合センターが統合し、平成十三年に設立された「とちぎ健康福祉協会」は、今年で十七年目を迎えておりますが、社会福祉を取り巻く環境が激変する中で、名実ともに法人改革を進めていかなくてはなりません。

当協会は、県内各地の施設・拠点において、児童・母子福祉事業や障害福祉事業のほか、県民の健康づくりや高齢者の生きがいづくり支援など、たいへん幅広い分野の事業に取り組んでいる社会福祉法人であり、県民の健康と福祉の向上を目指して、大きな役割を果たしております。

こうした当協会の特性をより一層発揮し、利用者本位の質の高いサービスを提供して、県民の皆様喜んでいただくためには、協会の全職員が常に緊張感を持って職務に精励し、あらゆる面で県民の理解や信頼が得られるよう取り組んでいかなくてはなりません。

風通しの良い職場環境の中で、職員同士大いに議論し、意識改革と業務改革を推進していけますよう、私も微力ながら力を尽くして参りますので、職員の皆様のご理解とさらなる奮起をお願いいたします。

また、施設整備につきましては、今年度、清風園の整備が完了する一方、桜ふれあいの郷の建築設計に着手することとしており、新しい施設が一日も早く完成するよう、全力を挙げて参ります。

職員の皆様、当協会をより一層発展させていくため、共に、心身ともに健康で、明るく、楽しく、元氣よく、そして和氣藹々と、業務を推進して参りましょう。

行事あれこれ

ねりんピックとちぎ2017

事業部

今年の「ねりんピックとちぎ2017 スポーツ・文化交流大会」は十五回目を迎え、五月七日(日)から約一カ月間、宇都宮市を含め五市二町において十九種目が開催され、選手・役員総勢三、二〇三名が参加しました。今年九月に秋田県で開催される第三十回全国健康福祉祭あきた大会への出場を目指し、どの競技も白熱した試合が繰り広げられました。年齢を感じさせない、つらつとしたプレーを目の当たりにし、選手の皆様からたくさん元気を感じました。

また、シルバー作品展には日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門に合計二二点の応募があり、とちぎ健康の森にて五月十七日(木)から五日間にわたり展示されました。個人だけでなくデイサービス利用の方々の共同制作など思い思いの作品が並び、「次は自分も挑戦したい」と作品に感銘を受けた来場者もありました。

スポーツ・文化交流大会で選ばれた十九種目一四六人の選手と、シルバー作品展の上位入賞作品十二点は、栃木県代表として九月九日(土)から四日間、秋田の地で開催する全国大会に参加します。参加者の皆様が好成績を収められることを期待しています。



ソフトボール交流大会 大会風景

健康の森 ワンポイントアドバイス

「ウォーキング」で健康づくり

ウォーキングは、ちょっとした空き時間や、思い立った時など、手軽に始められる運動です。無理のないペースで長く続けられる有酸素運動であり、脂肪燃焼、生活習慣病の予防や改善、体力の維持向上、ストレス解消など様々な健康への効果を期待できます。また、自分の体調等に合わせ強度調節ができるため、無理せず取り入れられます。



「歩き方のポイント」

- ① 普段より目線を上げる
目線を上げることで、自然と背筋がのび姿勢が良くなります。
- ② 普段より歩幅をやや広げる
歩幅を大きくすることで、体はバランスを取ろうと上半身の動きも大きくなります。腕の振りも自然と前後に大きく動きます。
- ③ 足音を立てないように歩く
静かに歩こうとすると自然と踵着地になります。踵から着地することで足への衝撃を吸収し、膝や腰への負担が軽くなります。
- ④ 後ろにある足の指で、しっかり地面を蹴る
これらの四つのポイントを参考に、自分のペースで実践してみましょう。また、これからの時期は、熱中症予防のために飲み物やタオル、帽子等を必ず身に着けましょう。「のどが渇いたな」と感じる前に、こまめに水分補給をすることをお勧めします。

とちぎ健康福祉協会役員等名簿

(平成29年7月1日現在)

理 事

(敬称略・順不同)

役 職 名	氏 名	所 属
理 事 長	平 野 博 章	とちぎ健康福祉協会
常務理事	島 田 淳	とちぎ健康福祉協会
常務理事	今 泉 信 男	とちぎ健康福祉協会
理 事	直 井 篤	とちぎ健康福祉協会
理 事	増 渕 研 一	とちぎ健康福祉協会
理 事	植 木 浩 子	とちぎ健康福祉協会

監 事

(敬称略・順不同)

役 職 名	氏 名	所 属
監 事	檜 山 英 二	栃木県国民健康保険団体連合会
監 事	鈴 木 寛	鈴木会計事務所

評 議 員

(敬称略・順不同)

氏 名	所 属
田 嶋 進	栃木県社会福祉協議会
黒 圖 盛 男	栃木県老人クラブ連合会
麦 倉 仁 巳	栃木県身体障害者団体連絡協議会
日向野 文 代	栃木県民生委員児童委員協議会
岩 瀬 昭 子	栃木県手をつなぐ育成会
浜 野 修	栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会
荒 川 勉	元とちぎ健康福祉協会

平成28年度苦情解決の実施状況報告書

苦 情 受 付 件 数		わかくさ					宝木保育園				桜ふれあいの郷				清風園					小計	合計	
		本人	家族等	第三者委員	運営適正化委員会	その他	本人	家族等	第三者委員	運営適正化委員会	その他	本人	家族等	第三者委員	運営適正化委員会	その他	本人	家族等	第三者委員			運営適正化委員会
サービスの内容に関する	言葉遣い・態度																				1	1
	支援・介護技術																					
	虐待・体罰																					
個人の嗜好・選択に関する	その他																					
	設備・備品																					
	食																					
財産管理に関する	趣味・娯楽																					
	その他																					
	金銭管理																					
制度、施策、法律に関する	私物管理																					
	その他																					
	その他																					
小計																					1	
合計			0					0					0						1			1

苦 情 解 決 方 法	わかくさ				宝木保育園				桜ふれあいの郷				清風園				小計	合計
	苦情解決責任者が解決	第三者委員を交え解決	運営適正化委員会経由	その他	苦情解決責任者が解決	第三者委員を交え解決	運営適正化委員会経由	その他	苦情解決責任者が解決	第三者委員を交え解決	運営適正化委員会経由	その他	苦情解決責任者が解決	第三者委員を交え解決	運営適正化委員会経由	その他		
サービスの内容に関すること	言葉遣い・態度																1	1
	支援・介護技術																	1
	虐待・体罰																	
	その他																	
個人の嗜好・選択に関すること	設備・備品																	0
	食																	
	趣味・娯楽																	
	その他																	
財産管理に関すること	金 銭 管 理																	0
	私 物 管 理																	0
制度、施策、法律に関すること																		0
その他																		0
小 計																	1	
合 計		0				0				0					1			1

苦情解決について

当協会が設置運営する児童福祉施設及び障害者支援施設における平成二十八年度の苦情受付とその解決状況は左表に掲載したとおりでした。

今後とも、提供するサービスの質の向上を図り、利用者の満足度とサービス提供者としての信頼を高めるよう努めます。

(1) 第三者委員との連絡会議実施状況

	わかくさ	宝木保育園	桜ふれあいの郷	清風園
第三者委員と施設との連絡会議等	実施している	定期 連絡会議を合同で年1回開催	定期 連絡会議を合同で年1回開催	定期 連絡会議を合同で年1回開催
	実施していない		虐待防止委員会(年3回)	審判協議委員会(年2回)
第三者委員と利用者の連絡会議	実施している	定期 随時		
	実施していない			

(2) 第三者委員への苦情報告状況

	わかくさ	宝木保育園	桜ふれあいの郷	清風園
定 期	連絡会議と同時		連絡会議と同時	
随 時				
全 体	○	○	○	○
選 別				
選別基準				
実 施 し て い な い				

さらに、第二回「山の日」記念全国大会連携イベントとして、ツリークライミング体験も実施いたしました。健康の森の敷地にあるプラタナスの木にロープを結び、自分の力で登って行きます。参加した子供たちにとっても、自然と触れ合う良い機会になったのではないのでしょうか。



開設二十周年記念
とちぎ健康の森フェス 2017

五月二十日(土)、とちぎ健康の森では、開設二十周年を記念したイベントを開催しました。当日は天気も良く、大変多くの方々に御来場いただきました。イベントは、元NHK「ためしてガッテン」専任ディレクター北折一氏による記念講演をはじめ、無料骨密度測定、健康づくり無料レッスン、福祉機器展示コーナー、県内のゆるキャラなどのミニステージ及び昔あそびコーナー等、様々な催しが行われ、老若男女問わず楽しんでいる様子が窺えました。

また、同時に行われていたねんりんピックとちぎ2017に合わせ、かるたや将棋、テニス等のねんりんピック競技体験も行われました。

平成29年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算

自 平成29年 4 月 1 日

至 平成30年 3 月31日

(単位 千円)

勘 定 科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)
事業活動による収入	170 児童福祉事業収入	134,624	137,648	△3,024
	190 保育事業収入	196,591	194,167	2,424
	220 就労支援事業収入	29,773	31,453	△1,680
	250 障害福祉サービス等事業収入	1,633,227	1,595,570	37,657
	320 指定管理者事業収入	735,759	734,293	1,466
	350 高齢者生きがいづくり支援事業収入	105,931	116,946	△11,015
	380 法人本部収入	102,787	104,483	△1,696
	383 借入金利息補助金収入	18	19	△1
	385 経常経費寄附金収入	10	10	0
	389 受取利息配当金収入	1,549	2,427	△878
	399 その他の収入	61,091	56,037	5,054
	事業活動収入計 (1)	3,001,360	2,973,053	28,307
支出	500 人件費支出	1,816,642	1,786,297	30,345
	550 事業費支出	498,779	504,665	△5,886
	590 事務費支出	464,890	470,292	△5,402
	630 就労支援事業支出	29,516	31,196	△1,680
	667 支払利息支出	1,295	194	1,101
	677 その他の支出	13,330	13,291	39
	事業活動支出計 (2)	2,824,452	2,805,935	18,517
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		176,908	167,118	9,790
施設設備等による収入	412 施設整備等補助金収入	2,728	0	2,728
	420 設備資金借入金収入	429,000	0	429,000
	施設整備等収入計 (4)	431,728	0	431,728
支出	690 設備資金借入金元金償還支出	5,448	5,448	0
	692 固定資産取得支出	253,251	486,708	△233,457
	700 固定資産除去・廃棄支出	27,098	124,493	△97,395
	702 ファイナンス・リース債務の返済支出	4,775	3,667	1,108
	施設整備等支出計 (5)	290,572	620,316	△329,744
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		141,156	△620,316	761,472
その他の活動による収入	459 積立資産取崩収入	200,821	640,056	△439,235
	442 事業区分間繰入金収入	35,014	35,829	△815
	444 拠点区分間繰入金収入	550,987	659,078	△108,091
	446 サービス区分間繰入金収入	1,740	2,934	△1,194
	779 長期前払費用収入	584	0	584
	その他の活動収入計 (7)	789,146	1,337,897	△548,751
支出	774 積立資産支出	489,212	156,601	332,611
	726 事業区分間繰入金支出	35,014	35,829	△815
	728 拠点区分間繰入金支出	550,987	659,078	△108,091
	730 サービス区分間繰入金支出	1,740	2,934	△1,194
	その他の活動支出計 (8)	1,076,953	854,442	222,511
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		△287,807	483,455	△771,262
予備費支出 (10)		30,000	30,000	0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		257	257	0
前期末支払資金残高 (12)		1,501,670	698,419	803,251
当期末支払資金残高 (11) + (12)		1,501,927	698,676	803,251

平成29年度
とちぎ健康福祉協会事業計画

I 基本方針

社会福祉法人制度改革が本格的に実施されることに伴い、公益性・非営利性の高い社会福祉法人としての存在意義を認識し、法人組織のガバナンス及び財務規律の強化、事業運営の透明性の向上、地域における公益的な取組等を着実に推進する。

また、国、県及び市町の福祉施策を踏まえ、協会が経営する施設の事業実施体制を充実させ、各サービスを確実に提供するとともに、より一層効率的、効果的な運営により、自主自立経営の確立を図る。

各社会福祉事業の実施に当たっては、事業者として長年培ってきた知識と技術を生かし、専門的で質の高い福祉サ

ビスを提供し、より高い信頼性の確保に努める。

また、高齢社会において益々重要性が増している高齢者の生きがいづくり及び幅広い県民の健康づくりを支援する事業を一体的に行うとともに、福祉事業従事者の専門的研修事業の一翼を担い、心豊かな福祉社会の実現に貢献する。

これらを達成するため、平成二十九年度は次の事項を重点的に推進する。

1 とちぎ健康福祉協会基本計画（二期計画）の最終年度としてその取組を総括し、法人の将来にわたる安定的な運営の指針として、新たな事業の展開や安定的な財務基盤の確立を目指す。

2 施設の建替整備について、清風園は、計画に基づき四期工事を実施し、全体の整備計画を完了させる。

桜ふれあいの郷は、現在地における建替整備に係る施設整備計画を策

定の上、基本設計に着手する。

3 施設の運営に当たっては、利用者の様々なニーズに柔軟かつ適切に対応した利用者主体のサービス提供を推進する。

障害者施設においては、障害者総合支援法に基づく事業を適正に実施するとともに、各市町や他施設との連携を図りながら利用者の地域移行と就労を促進し、併せて地域で生活する障害者の相談支援の充実強化を図る。

各福祉施設においては、経営管理体制の充実を図るとともに、研修体制の強化により、サービスの質の向上を図る。指定管理者制度対象施設においては、公の施設としての役割を踏まえながら、更なる利用促進及び管理運営の効率化を図る。

4 利用者の安全・安心を確保するため、職員一人ひとりが利用者の人権を尊重し、法令を遵守するとともに、職員に対する教育・相談・指導等の

体制を構築し、権利擁護の意識を高める。

5 将来の組織運営を見据え、計画的な人材確保と育成を図るとともに、職員にとってより一層誇りと働きがいのある職場づくりに努める。

6 利用者の健康と安全を確保するため、衛生管理や防火管理を徹底する。また、大規模災害が発生した場合の本部と各施設及び各施設間の連携を強化し、災害時の支援体制の充実を図る。

7 施設及び事業の透明性と信頼性を高めるため、外部監査、情報公開の推進に努めるとともに、個人情報保護の適正な管理を徹底する。

8 福祉サービス第三者評価を受審し、受審結果から得られた課題に適切に対応し、改善計画に基づき、サービスの質の向上に努める。

9 社会福祉法人の責務として、地域における公益的な取組を積極的に実施する。